

政策名	1グローバルロジスティクスの港		責任者	企画調整室 計画担当課長	連携担当課
基本施策名	01国際・国内海上輸送機能の強化				
個別施策名	04在来貨物等取扱機能を充実する		連絡先	052-654-7911	(企画調整室)事業担当
事務事業名	05国際バルク戦略港湾の実現化に向けた調整 【本掲】(【再掲】コード2-03-11-06)				

1 PLAN(目的・概要)

目的	穀物産業の国際競争力の強化のため、大型船舶の活用等により、物資の安定かつ安価な供給を図ります。	事業期間	平成23年度
概要	穀物について、アジア主要港と比べて遜色のない物流コスト・サービスの実現を図るとともに、将来的な穀物ターミナルの保管機能・生産機能の更なる拠点化・高質化、船舶の大型化への対応を平成32年度を目処に実現を図るための調整を行います。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	国際バルク戦略港湾の選定を受け、育成プログラムの作成、港湾計画の一部変更を実施します。								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	最終目標	23	備考(指標の算定方法など)
国際バルク戦略港湾 推進協議会の開催	単位	目標				2		2	育成プログラム作成、見直しに向け開催を予定している協議会を計上
	回	実績							
名古屋港審議会の 開催	単位	目標				1		1	
	回	実績							
事業費	千円					27,000			事業費については、航行安全に係る委託費を計上
人員	正規職員	人				3.65			
	嘱託職員	人				0			
	人件費相当額	千円				32,000			
事業費・人件費の合計	千円					59,000			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	最終目標	23	備考(指標の算定方法など)	
育成プログラムの作成、見直し	単位	目標				2		2		
	回	実績								
	達成率(%)									
港湾計画の一部変更	単位	目標				1		1		
	回	実績								
	達成率(%)									
観点	課題の有無	現状の「見える化」							その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	・国際バルク戦略港湾の選定を受け、地元経済界、穀物ユーザーなど、新食糧コンビナートの実現に向け、その対応が期待されています。							
	目的・水準の妥当性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無								
有効性	利用者などの対象者ニーズ	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	・育成プログラムの作成、港湾計画一部変更における新食糧コンビナート計画の位置づけ等、実現化に向けた動きを進めています。							
	成果の達成度	有・ <input checked="" type="radio"/> 無								
効率性	実施主体の妥当性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	・港湾管理者が主体となり港湾関係者、穀物ユーザーとの調整を図ることから、実施主体として適正です。							
	受益者負担の適正性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無								
	経済性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無								

4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
延伸	成果	コスト	ユーザー等関係者の協力を得ながら実現に向けて取り組む必要があるため。
	拡大	拡大	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			
国際バルク戦略港湾施策の実現に向け、育成プログラムに示した事業の実施、必要な予算の確保に向け国との調整を図ります。また、埋立に必要な手続きも進めていきます。			